

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120555	クラス名	池畑研究室
担当教員名	池畑 義人		
履修上の注意、 履修条件	中津市など地域での活動が多くを占めます。 プロジェクト系科目および森里海連環学と地球的課題、環境水理学の履修を推奨しています。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	講義中に指示します。		
関連科目	研究ゼミナールA 卒業研究		

○基本情報		
授業の目的	本科目では、専攻した専門分野に関して、教科書ばかりではなく論文、雑誌および専門書等を教材として取り挙げ、質疑応答形式で理解を深めます。また、専攻したコースのうち、主なテーマを題材として、その調査、実験、理論及び設計計算手法等を学びます。 これまでの学習の集大成としての成果をまとめ発表することにより、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力等、社会人基礎力を養うとともに、併せてインターンシップやフィールドワーク等の実践教育を通して、社会の即戦力となり得る専門能力と職業能力を身につけます。 また、技術が環境や社会に与える影響について理解し、技術者としての責任感と倫理観を身につけるとともに、そのような目的意識のもと、生涯にわたって自発的に学習する能力が身につけます。	
授業の概要	この講義では、就職活動の進捗状況等を考慮して、以下の項目を適宜実施します。 ○プレゼンテーションの練習 ○就職試験対策 ○文献調査 ○現地調査 ○学内・学外の研究室との合同ゼミ	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	授業に積極的に参加する 地域の活動に積極的に参加する		40点	
【知識・理解】	文献調査やヒアリングを通じて、実習対象地域のことを理解する		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	自分たちの立案した企画の内容を地域の人に理解してもらうように説明できる。			40点
【思考・判断・創造】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
提出物やプレゼンテーション、授業に取り組む姿勢から総合的に判断します 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	研究ゼミナールB（Seminar of Study B） 池畑 義人	授業コード	L120555
学修内容				
1. ガイダンス これからの授業の進め方について解説します				
予習		シラバスの熟読		約2時間
復習		講義中に指定します		約2時間
2. データ処理法1 水文統計や沿岸海洋工学に必要なデータ処理法について学びます				
予習		スプレッドシートのセットアップ		約2時間
復習		与えられたデータの処理		約2時間
3. データ処理法2 水文統計や沿岸海洋工学に必要なデータ処理法について学びます				
予習		水工学が対象とする課題の調査		約2時間
復習		与えられたデータの処理		約2時間
4. データ処理法3 水文統計や沿岸海洋工学に必要なデータ処理法について学びます				
予習		水工学が対象とする課題の調査		約2時間
復習		与えられたデータの処理		約2時間
5. データ処理法4 水文統計や沿岸海洋工学に必要なデータ処理法について学びます				
予習		水工学が対象とする課題の調査		約2時間
復習		与えられたデータの処理		約2時間
6. データ処理法5 水文統計や沿岸海洋工学に必要なデータ処理法について学びます				
予習		水工学が対象とする課題の調査		約2時間
復習		与えられたデータの処理		約2時間
7. 現地調査1 中津干潟や野依新池における生物多様性を維持する活動に参加しながら、県北部が抱える諸問題について調査します。				
予習		活動内容の調査、文献やインターネットを使った予備的調査		約2時間
復習		調査結果の整理		約2時間
8. 現地調査2 中津干潟や野依新池における生物多様性を維持する活動に参加しながら、県北部が抱える諸問題について調査します。				
予習		活動内容の調査、文献やインターネットを使った予備的調査		約2時間
復習		調査結果の整理		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	研究ゼミナールB（Seminar of Study B） 池畑 義人	授業コード	L120555
学修内容				
9. 現地調査3 中津干潟や野依新池における生物多様性を維持する活動に参加しながら、県北部が抱える諸問題について調査します。				
予習		活動内容の調査、文献やインターネットを使った予備的調査		約2時間
復習		調査結果の整理		約2時間
10. 現地調査4 中津干潟や野依新池における生物多様性を維持する活動に参加しながら、県北部が抱える諸問題について調査します。				
予習		活動内容の調査、文献やインターネットを使った予備的調査		約2時間
復習		調査結果の整理		約2時間
11. 現地調査結果の整理1 調査によって得られた結果をもとに、図書館の文献、インターネットで得られるデータをもとに課題解決のための定量的な分析をします。				
予習		文献やデータの検索		約2時間
復習		レポートの取りまとめ、発表資料作成		約2時間
12. 現地調査結果の整理2 調査によって得られた結果をもとに、図書館の文献、インターネットで得られるデータをもとに課題解決のための定量的な分析をします。				
予習		文献やデータの検索		約2時間
復習		レポートの取りまとめ、発表資料作成		約2時間
13. 現地調査結果の整理3 調査によって得られた結果をもとに、図書館の文献、インターネットで得られるデータをもとに課題解決のための定量的な分析をします。				
予習		文献やデータの検索		約2時間
復習		レポートの取りまとめ、発表資料作成		約2時間
14. 現地調査結果の整理4 調査によって得られた結果をもとに、図書館の文献、インターネットで得られるデータをもとに課題解決のための定量的な分析をします。				
予習		文献やデータの検索		約2時間
復習		レポートの取りまとめ、発表資料作成		約2時間
15. プレゼンテーション 中津市で開催される中津アカデミアにおいて調査結果を発表します。				
予習		発表練習		約2時間
復習		発表結果の振り返り		約2時間
16.				
予習				
復習				